

CompTIA Security+



Protect Your Organization with Security+ Certification

■ CompTIA Security+ とは

CompTIA Security+ は、サイバーセキュリティのアーリーキャリアとして最初に取得すべき認定資格です。CompTIA Security+ は、サイバーセキュリティのプロフェッショナルが、ネットワークの保護、脅威の検出、データの保護に必要な基本的なセキュリティスキルを、パフォーマンススペースの問題を通じて習得することができます。

CompTIA Security+ 認定資格を取得することで、下記のような知識とスキルを持っていることを証明します。

- エンタープライズ環境のセキュリティ態勢を評価し、適切なセキュリティソリューションを推奨および実装する
- クラウド、モバイル、IoT などのハイブリッド環境を監視および保護する
- ガバナンス、リスク、コンプライアンスの原則など、該当する規制やポリシーを認識したうえで運用する
- セキュリティイベントやインシデントの特定、分析、対応を実施する

CompTIA Security+ 認定資格試験は、以下を目安に設計されています。

- セキュリティに重点を置いた IT 管理における最低 2 年間の業務経験
- 技術的情報セキュリティの実務経験
- セキュリティコンセプトに関する幅広い知識

CompTIA Security+ は、ISO17024 を取得しています。米国国防総省マニュアル 8140.03 (DoDM 8140.03) は、国防総省のサイバー要員の管理に関する基準を規定し、要員の認証、追跡、資格認定、報告を含む責任を割り当てています。CompTIA は、現在、DoDM 8140.03 に基づき、Security+、CySA+、PenTest+、CASP+ など、31 の業務における 8 つの認定資格の認可を受けています。

■ CompTIA Security+ の取得

必要不可欠なスキルのコアとなる基礎を身につけ、充実したキャリアへの道を開きます。サイバーセキュリティの基本スキルとして Security+ を使用する職種は、業界で最も多くなっています。

CompTIA Security+ 認定資格試験には、**多肢選択式の問題**に加え、正確にスキルを評価するために**パフォーマンススペースの問題**が含まれています。



" 業界の業界による 業界のための資格 "

CompTIA 認定資格は、試験作成委員会を中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

CompTIA Security+ SME

■ 海外 / 一部抜粋

- Amazon Web Services
- Agile Defense, Inc.
- The Boeing Company
- Cisco
- Cyber Warfare Tactics
- First American
- Governors State University
- IBM
- The Johns Hopkins University Applied Physics Laboratory
- Microsoft
- Netsmart
- Open Society Foundations
- US Navy

■ 日本 (50 音順)

- さくらインターネット株式会社
- トレンドマイクロ株式会社
- 陸上自衛隊通信学校
- 釜山 公德 氏

認定資格の詳細情報は、下記 Web サイトをご覧ください：

https://www.comptia.jp/certif/comptia_certificaiton/

■ CompTIA 認定資格のキャリアパスと CompTIA Security+ の位置づけ

CompTIA
pathway to jobs



■ CompTIA Security+ 出題範囲

CompTIA Security+ (SY0-701)

| 試験番号 | 問題数 | 制限時間 | 合格ライン |
|-----------------------|-----|--|-------|
| 1.0 セキュリティコンセプトの概要 | 12% | <ul style="list-style-type: none"> さまざまなタイプのセキュリティコントロールを比較対照することができる。 基本的なセキュリティコンセプトを要約することができる。 変更管理プロセスの重要性とセキュリティへの影響を説明することができる。 適切な暗号化ソリューションを用いる重要性を説明することができる。 | |
| 2.0 脅威、脆弱性、軽減策 | 22% | <ul style="list-style-type: none"> 一般的な脅威アクターと誘因を説明することができる。 一般的な脅威ベクターと攻撃対象領域を説明することができる。 様々な種類の脆弱性を説明することができる。 与えられたシナリオに基づいて、悪意あるアクティビティの指標を分析することができる。 企業の保護に用いられる軽減手法の目的を説明することができる。 | |
| 3.0 セキュリティアーキテクチャ | 18% | <ul style="list-style-type: none"> 様々なアーキテクチャモデルのセキュリティ関連事項を比較対照することができる。 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティ原則を適用し、企業インフラストラクチャを保護することができる。 データ保護のコンセプトと戦略を比較対照することができる。 セキュリティアーキテクチャにおけるレジリエンスと復旧の重要性を説明することができる。 | |
| 4.0 セキュリティオペレーション | 28% | <ul style="list-style-type: none"> 与えられたシナリオに基づいて、一般的なセキュリティ手法をコンピューティングリソースに適用することができる。 適切なハードウェア、ソフトウェア、およびデータセット管理のセキュリティ関連事項を説明することができる。 脆弱性管理に関連する様々なアクティビティを説明することができる。 セキュリティアラートとモニタリングのコンセプトとツールを説明することができる。 与えられたシナリオに基づいて、エンタープライズ機能を修正してセキュリティを強化することができる。 与えられたシナリオに基づいて、ID とアクセスの管理を実施および維持することができる。 セキュアなオペレーションに関連する自動化とオーケストレーションの重要性を説明することができる。 適切なインシデントレスポンスアクティビティを説明することができる。 与えられたシナリオに基づいて、データソースを使用して調査をサポートすることができる。 | |
| 5.0 セキュリティプログラムの管理と監督 | 20% | <ul style="list-style-type: none"> 効果的なセキュリティガバナンスの要素を説明することができる。 リスク管理プロセスの要素を説明することができる。 サードパーティーのリスク評価とリスク管理に関連するプロセスを説明することができる。 効果的なセキュリティコンプライアンスの要素を説明することができる。 監査および評価のタイプと目的を説明することができる。 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティ意識向上のプラクティスを実施することができる。 | |

■ CompTIA Security+ 試験概要

| 試験番号 | 問題数 | 制限時間 | 合格ライン |
|---------|----------|------|-------------------------|
| SY0-701 | 最大で 90 問 | 90 分 | 100 ~ 900 のスコア形式 750 以上 |

■ CompTIA Security+ トレーニング教材 : The Official CompTIA Study Guide

The Official CompTIA Study Guide は、CompTIA 認定資格試験の出題範囲がすべて網羅されているテキストです。eBook 版と書籍版の 2 種類が提供されています。

The Official CompTIA Security+ Self-Paced Study Guide (試験番号 : SY0-701) 日本語版

学習範囲

自学で学習を進める方向けのコンテンツです。最新の CompTIA Security+ (SY0-701) 出題範囲を網羅しており、多くの図解を含む十分な情報量の理解しやすいコンテンツです。

含まれる内容

- 実際の業務に合わせたコンテンツ - すべてのトピックスは、業務上の職務に関連しており、レッスンでは実際の業務で発生する内容を取り上げています。
- 各トピックの最後にある確認問題で理解度を確認することができます。
- 重要な用語および頭字語の包括的用語集

学習内容

The Official CompTIA Security+ Study Guide (SY0-701) は、CompTIA 認定資格試験を自学で学習される方向けに作成されています。本書は、CompTIA Security+ (SY0-701) の出題範囲がすべて網羅されていることを第三者により評価されており、CompTIA Server+ の取得に必要なスキルを学習することが可能です。

本書には、以下の内容が含まれています。

- 基本的なセキュリティコンセプトを要約する
- 脅威の種類を比較する
- 適切な暗号化ソリューションを説明する
- ID とアクセス管理を実施する
- エンタープライズネットワークアーキテクチャを保護する
- クラウドネットワークアーキテクチャを保護する
- 回復力とサイトセキュリティの概念を説明する
- 脆弱性管理を説明する
- ネットワークセキュリティ機能を評価する
- エンドポイントセキュリティ機能を評価する
- アプリケーションのセキュリティ機能を強化する
- インシデント対応とモニタリングのコンセプトを説明する
- 悪意のあるアクティビティの指標を分析する
- セキュリティガバナンスの概念を要約する
- リスク管理のプロセスを探究する
- データ保護とコンプライアンスの概念を要約する



The Official CompTIA Contents の購入は、下記 CompTIA Store から :

<https://jp-store.comptia.org/>

■ CompTIA Security+ トレーニング教材 : CompTIA CertMaster Labs

CompTIA CertMaster Labs では、リモート環境を通して、実際のソフトウェアを体験学習することが可能です。CompTIA CertMaster Labs の学習内容は、CompTIA 認定資格試験の出題範囲に沿っており、より実践的な学習を行うことができます。

ブラウザーベース

CompTIA CertMaster Labs は、インターネット接続とブラウザを使用してアクセスが可能で、学習のためにセットアップは必要ありません。受講者は、特定の機材やソフトウェアといった学習教材をリモートからセキュアに利用することが可能です。

実際の IT 環境やソフトウェアを使用

CompTIA CertMaster Labs では、実際のソフトウェアアプリケーションとオペレーティングシステムで構成された仮想マシンを使用しています。タスクに対して柔軟に対応できるだけでなく、受講者の業務での実体験を再現することが可能です。

モジュール形式のタスク

各ラボ内のタスクは、それぞれ独立しており、任意の順番で進めていただくことが可能です。

即戦力の育成に最適

CompTIA CertMaster Labs は、受講者が業務における実践的なスキルを育成する際に役立つと共に、CompTIA 認定資格試験を受験の際に、パフォーマンススペーステストを想定した準備のためにも役立ちます。

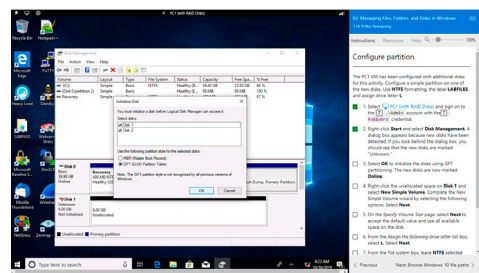
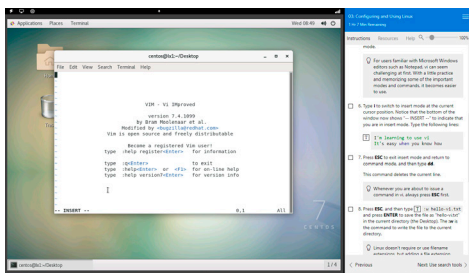
Official CompTIA Content との高い親和性

CompTIA CertMaster Labs は、Official CompTIA Content のアクティビティに基づいており、知識と実践的なスキルの両方を習得するためのシームレスな学習体験を提供します。

CompTIA CertMaster Labs for Security+ (SY0-701)

本 Labs には、以下の内容が含まれています。

- サポートラボ：ラボ環境を確認する
- サポートラボ：システム構成のギャップ分析を実行する
- サポートラボ：セキュリティ制御タイプの構成例
- サポートラボ：オープンサービスポートの検索
- サポートラボ：SET を使ってソーシャルエンジニアリングを実行する
- 応用ラボ：ストレージ暗号化を使う
- サポートラボ：ハッシュとソルティングを使う
- サポートラボ：パスワードセキュリティの管理
- サポートラボ：パーミッションの管理
- サポートラボ：リモートアクセスの設定
- サポートラボ：IPSec トンネリングを使う
- サポートラボ：コンテナを使う
- サポートラボ：仮想化を使う
- 応用ラボ：バックアップの実装
- サポートラボ：ドライブのサンタイズの実行
- サポートラボ：SQLi の悪用と検出
- サポートラボ：脅威のフィードを使った作業
- サポートラボ：脆弱性スキャンの実行
- サポートラボ：セキュリティベースラインの理解
- 応用ラボ：ファイアウォールの実装
- サポートラボ：グループポリシーを使う
- 応用ラボ：セキュリティ強化
- サポートラボ：DNS フィルタリングの実行
- サポートラボ：システム監視の構成
- 応用ラボ：インシデント対応：検出
- 応用ラボ：デジタルフォレンジックの実行
- サポートラボ：根本原因の分析を実行する
- サポートラボ：マルウェアの検出と対応
- サポートラボ：オンパス攻撃の理解
- 適応ラボ：ブレイックを使う
- サポートラボ：許可リストと拒否リストの実装
- サポートラボ：偵察の実行
- サポートラボ：侵入テストの実行
- サポートラボ：シミュレーションによるトレーニングと意識向上
- キャップストーンラボ：異常行動の発見
- サポートラボ：自動化とスクリプティングの使用例
- 適応ラボ：ネットワークスニファを使用する



※イメージはサンプルです。各認定資格で表示される画面とは異なります。

CompTIA CertMaster Labs の購入は、下記 CompTIA Store から：

<https://jp-store.comptia.org/>